



# 地域移行通信

第49号 令和4年12月発行



世田谷区 自立支援協議会 地域移行部会

この通信は、部会の様子をお伝えし、関連する機関のみなさまとの情報共有をめざして発行しています。

## <世田谷区自立支援協議会 地域移行部会>

精神科病院の入院患者等の退院促進に向け、関係機関との情報交換や課題への対応策等の検討を行っています。



今回は、以下についてお伝えします。

1. 令和3年10月 世田谷区居住支援協議会セミナーにて登壇！
2. 令和4年 2月 「誰でも地域移行部会」を開催！
3. 令和4年 9月 あんしんすこやかセンター スキルアップ会議にて研修実施！ 世田谷区地域包括支援センター



## 1. 世田谷区居住支援協議会セミナー

日 時：令和3年10月26日（火）14:20～16:30

テ ー マ：地域の精神障害者の地域生活、地域資源の紹介

サブテーマ～精神障害のある方の暮らしを感じる～

場 所：三茶しゃれなあどホール オンラインで同時開催

参加人数：会場 26名・オンライン 19名

第4回世田谷区居住支援協議会セミナーでは「地域の精神障害者の地域生活、地域資源の紹介」についてお話をいただきました。障害者の住まいの確保に携わっていただいている不動産管理会社の方や不動産オーナーの皆様に 地域共生社会の実現にむけた法整備の状況、社会的入院を知っていただくこと、地域資源を組み合わせながら安定した地域生活を実現している事例のご紹介を通じて、何かひとつでも参加された方の心に残り、考えてもらえるきっかけづくりとなるようお話をいただきました。

### アンケート結果

#### アンケート回答者

所属	会場	オンライン
不動産会社	15	1
不動産オーナー	2	0
その他	1	1
無回答	1	0

ご意見等

- ・新しい制度として理解できた。一応安心感は持てたが、実際に必要になった時を考えると、まだハードルは高く感じられる。
- ・精神障害者の方への対応が非常に難しいです。アパート・マンションでのトラブル解決が難しいと思います。

地域移行部会では、これからも住まいの確保支援の取り組みについて検討していきます。

## 2. 令和3年度「誰でも地域移行部会」

日時：令和4年2月22日（火）14:30～16:30

テーマ：精神科病院へ入院している区民が、地域で暮らすために、自分たちは何ができるか

場所：オンライン＋視聴会場（東京リハビリテーションセンター世田谷1階地域交流スペース）

参加人数：63名（うち視聴会場5名）

病院スタッフ、地域支援者、行政や区民後見人等

令和2年度から新たに実施している長期入院者への病院訪問支援事業の実践例や、地域で暮らしている精神科病院入院経験のある方々のお話、精神科病院を退院した方に対して地域での暮らしを支えている方々に登壇いただきました。当事者の体験談等から、自分たちは何ができるかを参加者みなで考えました。

### (1) 長期入院者への病院訪問支援事業の紹介と実践例

- ・世田谷区の長期入院者訪問支援事業の概要と現状
- ・この事業を活用して、実際に退院された方の事例
- ・訪問支援事業の今後の展望や課題等について

### (2) 地域で暮らしている精神科病院入院経験のある方々からのお話 2名(当事者、ピアサポーター)

- ・精神科病院に入院した時の体験談  
初診～入院までの体験談、精神科と出会った時のエピソード、医療や支援者に繋がったきっかけなど
- ・地域での活動の紹介  
活動に関わったきっかけ、活動内容、これから行っていきたいこと等

### (3) 精神科病院を退院した方に対して、地域での暮らしを支えている方々からのお話

- ・高齢者の地域移行・地域定着の現状と課題について
- ・再入院を繰り返さないために
- ・「夢のみずうみ村 新樹苑」デイサービスの特徴や取り組み、事例紹介

### アンケート結果

所属	回答数	所属	回答数
当事者	3	訪問看護	0
当事者家族	0	居住支援関係者	0
ぽーと <sup>1</sup> ・基幹相談支援センター	2	行政	3
その他障害事業所	6	大学	0
あんしんすこやかセンター <sup>2</sup>	7	民生委員	1
ケアマネジャー	2	区民後見人	2
社会福祉協議会	2	その他	1
病院	6		

<sup>1</sup>地域障害者相談支援センター、<sup>2</sup>地域包括支援センター



**Q1：今回の地域移行部会に参加いただいた理由は  
何ですか？**

理由	回答数
地域移行・定着に関心があるため	10
地域移行部会のアクションプランに関心があるため	1
地域支援者との関係づくりのため	1
地域支援者との連携のため	3
勉強のため	18
参加するよう指示があったため	2
その他	0

**Q2：今回の地域移行部会はいかがでしたか？**

回答	回答数
とても良かった	12
良かった	19
ふつう	3
あまり良くなかった	1
良くなかった	0



**Q3：ご評価いただいた理由について教えてください。**

- ・長期入院患者さんの退院促進について勉強できました。高齢になってからの退院が困難であることをはじめとして、色々なことを知ることができました。
- ・ピアサポーターの経験と地域移行の事例からイメージがわきやすかった。
- ・世田谷区の訪問支援事業や、実際の地域で生活されている方のお話を聴くことができ良かったです。

**Q4：今回の地域移行部会において、得られたもの、理解が深まったもの、今後の活動において活かせるようなこと等がありましたか？あれば教えてください。**

- ・病院から地域への移行過程でグループホームの役割が大切であることが理解できました。
- ・ピアサポーターをやっているが、制度のこと、地域でどうやって、長期入院している人を受け入れたらいいのか、参考になりました。
- ・高齢者の地域移行に関して、介護保険側としては障害福祉を勉強する機会や、相談支援専門員について知る機会を得たいと考えます。
- ・長期入院者への病院訪問事業を知ることができて良かった。
- ・障害担当チームと、介護保険担当チーム（高齢側）がもっと連携しやすくなるような仕組みが必要。ぽーと(地域障害者相談支援センター)、基幹相談支援センター、区総合支所保健福祉課の障害支援担当、健康づくり課などそれぞれの役割と連携の仕方を具体的に知りたいです。
- ・普段は介護保険にかかわる業務ですが、どうしてもケアの発想や組み立てが偏りがちになります。このように他職の支援の実例、事例について知る機会があると自分の仕事についても見直すきっかけになりますし、制度的なことなど知識も増えます。またあらたに連携の手段も発見できます。
- ・当事者の方が求めておられる支援、当事者の方に届く支援とはどのようなものか、考えさせられました。
- ・ピアサポーターに対しての理解が深まりました。体験談が良かったです。
- ・精神障害の方も社会生活が送れるように、自立支援協議会やピアサポートの支えがあることを知りました。また精神障害の方は、長期の支援が必要なことも知りました。
- ・介護保険のケアマネジャーには、その辺のスキルを学ぶ機会があまりないので、このような機会が増えると助かります。
- ・誰でもが快適に暮らしていくことができる地域は、どの分野にも共通するものだと思います、励みにもなり、力にもなったと思います。

**Q5：地域移行部会のご感想やご意見をお書きください。**

- ・ピアサポーターとして活動するうえで、高齢者の退院促進にとっても興味をもちました。
- ・地域と当事者との交流にもなるのでとても良い会だと思いました。今後も退院した方が地域で安心して暮らせるよう、みんなで輪を繋いでゆけたらと思います。
- ・自立支援のために様々な窓口があるのは心強いと思いました。東京都には長期入院されていても受け入れ先があれば退院出来る方が38%もいらっしゃる事に驚き、自立支援協議会地域移行部会が沢山出来るとよいと思います。

### 3. あんしんすこやかセンタースキルアップ会議

日 時：令和4年9月26日（月）午後13:15～16:50  
テ ー マ：高齢者の地域移行・地域定着について  
場 所：ブライトホール（世田谷区役所第3庁舎内）  
参 加 者：あんしんすこやかセンター 職員 約30名  
地域包括支援センター



令和3年度「誰でも地域移行部会」で頂いた意見を受け、第5回あんしんすこやかセンタースキルアップ会議にて研修を実施しました。

前半では、精神障害者長期入院についての基本的な考え方から、入院中および退院後の支援、取り組み例についてお話をしました。

後半は、6グループに分かれてグループワークを行い、障害分野における「こんなサービスが利用できたらいいね」について話し合いました。



#### グループワークでのご意見の一部をご紹介します

- 65歳（障害福祉サービス 介護保険サービス）移行について
- ・障害福祉サービス 介護保険の移行がシステム化できるとよい。
- ・ケースの関係者が集まる地域移行会議がある地域がある。
- ・障害関係者は介護保険についてよく、知らない人が多い(その逆もある)
- ・障害福祉サービスの就労継続支援B型利用者については、移行後の介護サービスのデイサービスの利用は内容が違いすぎて、利用が難しい。

障害と高齢のはざまの方の居場所について

- ・障害のある方で65歳を越えた方が使える場が少ない。
- ・また、高齢のデイケアには馴染まない場合がある。
- ・共生型サービスをおこなっているところ少ない。
- 本人に合ったサービス
- ・本人が支援を拒否してサービスが入られない方でも、見守りのために緩やかに繋がれる場があるとよい。

高齢と障害の複数のサービスが入っている世帯情報が共有できるとよい。

通所先について

- ・介護保険の通所介護では、年齢の若い方には馴染みにくい面があったり、精神科医療のデイケアは、基本的に自分で通わなければいけない。
- ・送迎がある(条件付で他サービス利用できるが)とよいし、もう少し家の近くに通える所があるとよい。
- 通院や服薬について
- ・通院が途絶えて、過去に措置入院となった方がいるが、引きこもり状態の人に対して、定期的に服薬状況等を確認できる体制や見守り機関等があるとよい。例えば、退院直後は、介護保険サービスの定期巡回に相当するサービスが使えるとよい。

自立生活援助と地域定着支援について

- ・自立生活援助は、(延長の可能性もあるが)基本的に1年の期限付きサービスで、地域定着支援もエンドレスで使えるサービスではない。それぞれの利用期限が終わった後に、介護保険サービスの枠組みで支援できるサービスがあると良い。

地域移行部会では、これからも高齢者の地域移行・地域定着についての検討していきます。

#### グループワークの様子



#### 【事務局】

世田谷区障害福祉部 障害保健福祉課  
世田谷保健所 健康推進課

電話 03(5432)2247  
電話 03(5432)2947